



## 浪人形

私立の結果がほぼ出そろった時期となった。「補欠」の連絡が届いていて、何となく中途半端は気持ちの人もいるだろうが、そういうことも含め、それが今年の結果だから潔く受け入れよう。しかし、潔く受け入れながらも、心の中でやりきった感がなかったり、満足感がなかったりしたら、ここは考え所となる。また、考えるまでもなく、浪人形の道を選ばざるをえなくなっている人もいるだろう。

考えるまでもない人は仕方ないが、迷っている人にアドバイス。浪人形になると、一年間、勉強のみの生活が待っている。それに自分が耐えられるのか、さらに、もう一年勉強することで向上する見込みのある科目があるのかどうか、よ〜く考えて判断しよう。当然のことながら、予備校に行けば大学一年分と同じ学費がかかる。宅浪という手もあるが、生活リズムのことを考えるとあまりお勧めできない。また、仮面浪人という手もあるが、成功する人もいる一方で、失敗する人も多い。というか、失敗する人の方が多い。大学の学費を払いながら、予備校の夏期講習には参加するといった中途半端な出費も多いので、これもあまりお勧めできない。浪人形になるなら、浪人形になりきって努力した方が結局はよい結果に結びつく。

ちなみに、今までの日比谷の経験でいうと、予備校に通って、残念ながら現役の時と同じ結果に終わったという人はいるが、現役の時よりも結果が悪くなったという人はいない（宅浪していて、現役の時よりも結果が出なかったという人は少数ながらいる）。要は、あと一年、受験勉強を継続する意志の力があるかどうかである。

学校全体で模試を受けている関係から、S台とK塾に関しては、割引制度があるので相談してほしい。どちらも実績のある所だから、通いやすさなども含めて選ぶとよいだろう。S台は一クラスが100名くらい、K塾は50名くらいなので、後者は一日でも休むと家に電話連絡が来るそうだから、自分の生活をしっかり保つことに自信がない人には向いているのかも知れない。

予備校に行くことにしたら、今まで使っていた問題集や参考書はとりあえず片付けて、予備校のテキストだけに集中すること。テキストを100%理解するつもりで予習・復習を繰り返していけば、自然と力がつくように編集されている。予備校の授業とテキストを信頼し、余計なものには手を出さずにコツコツ努力を継続することが、確実なりベンジへの道である。

\*

さて、次回登校日は●日（●）13:30～。ただし、SSH表彰や皆勤賞表彰のある人は、12:30までに登校のこと。その際、不要になった赤本や参考書を進路部で回収しているので、家にある人は持参して、後輩に寄付してほしい。逆に、家に持ち帰る物もたくさんある。体育館履きを残す以外は、ロッカーを含め全て私物を持ち帰ってもらうし、卒業アルバム、PTA会報などの配布物もあるので、かなり大きな荷物入れを用意しておくこと。

最後になるが、まだ後期試験を目指して努力している人もいる。つまり、まだ受験の雰囲気維持する必要があるのである。そのことを踏まえた言動に努めてほしい。